

駒澤大学アセスメント・ポリシー

駒澤大学では、卒業認定・学位授与の方針（以下、DP）、教育課程編成・実施の方針（以下、CP）、入学者受け入れの方針（以下、AP）の3つのポリシーに基づき、学生の入学時から卒業後までの成長を視野に入れ、機関レベル（大学）、教育課程レベル（学部・学科）、科目レベル（個々の科目）の3段階のレベルで学修成果・教育成果の評価・測定を以下のとおり行います。

表1. 学修成果・教育成果の評価レベル及び測定データ一覧表

	入学生	在学生	卒業生・就職先
大学全体 （機関）レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜結果 ・アセスメントテスト ・英語能力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA分布状況 ・履修状況、成績分布状況 ・休学率、留年率、退学・除籍率 ・海外留学状況 ・転部転科状況 ・アセスメントテスト ・英語能力テスト ・単位取得率 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・就職率 ・進学率（大学院進学） ・卒業時アンケート調査（満足度等） ・卒業生アンケート調査（大学での学びの役立ち） ・就職先アンケート
学部・学科 （教育課程）レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜結果 ・アセスメントテスト ・英語能力テスト ・入学前教育取組状況（対象者のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA分布状況 ・履修状況、成績分布状況 ・修得単位数 ・休学率、留年率、退学・除籍率 ・学生による授業アンケート ・学修行動調査（学修時間等） ・アセスメントテスト ・英語能力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時アンケート調査 ・卒業生アンケート調査 ・資格試験合格率 ・卒業論文提出率
個々の科目 （科目）レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・英語能力テスト^(注1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績分布状況 ・学修ポートフォリオ ・学生による授業アンケート ・英語能力テスト^(注1) 	

(注1) 1, 2年次の英語科目で活用。

○大学全体（機関レベル）のアセスメント実施・検証方法

1. 実施・検証体制

機関レベルのアセスメントを実施・検証するための体制は以下の組織で行います。

a. 駒澤大学教学運営会議

学長が推進する大学全体の教学運営に関する内部質保証の推進に責任を負う組織。

機関レベルで収集した学修成果・教育成果データを各組織に共有する。また、自己点検・評価報告書の結果を基に、各組織に改善取組計画等の策定を指示し、その各取組計画等を審議する。

b. 教務委員会

教育課程の編成、実施、改善のために必要な事項を審議し、学部間の密接な連携のもとに調整措置をとるための組織。

機関レベルで収集した学修成果・教育成果データを基に専門教育科目に関連するDPの検証を行う。

c. 全学共通科目教育運営分科会

全学共通科目（宗教教育科目、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目）の教育課程の編成、実施、改善のために必要な事項を審議し、学部間の密接な連携のもとに調整措置をとるための組織。

機関レベルで収集した学修成果・教育成果データを基に全学共通科目に関連するDPの検証を行う。

d. 宗教教育運営委員会

建学の理念の具現化と、宗教教育の充実を図るための組織。

DP1を検証と実施を進める。

e. 駒澤大学入学者選抜委員会

入学試験に関する各般の事項を審議するための組織。

入学試験の制度や方針、全般的な調整等を審議する。

APの検証と実施を進める。

f. 全学自己点検・評価委員会

教育・研究活動及びその管理運営等の状況について内部質保証の推進に寄与する自己点検・評価を実施し、教育・研究水準の向上と教育・研究活動の活性化を図る。

2. DPとCPの検証におけるデータ

機関レベルのDPとCPの検証は、駒澤大学DPの各項目に係るデータを収集し、それらのデータを分析することで行います。また、その検証におけるデータは、客観データと主観データで行います。客観データは正課授業の履修・成績等の指標とアセスメントテストのスコア等を活用し、主観データは学生や卒業生、就職先を対象としたアンケートを活用します。

表2. 駒澤大学DP・CP成果検証における客観データと主観データ

DP・検証内容	客観データ	主観データ	実施・検証組織
(DP1) 建学の理念を实践する力〔主体性・多様性・協働性〕	「仏教と人間」の成績分布及び単位取得率／アセスメントテスト（姿勢・態度、経験）	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート／就職先アンケート	全学共通科目教育運営分科会・宗教教育運営委員会
(DP2) 幅広い教養と専門知識〔知識・技能〕	教養教育科目各分野（人文・社会・自然・ライフデザイン）の履修率及び成績分布／外国語科目の履修率及び成績分布／実用英語科目 ^(注2) の履修率及び成績分布／英語能力テスト／主な導入教育科目 ^(注2) の成績分布及び単位取得率／主な講義科目 ^(注2) の成績分布及び単位取得率／主な実験科目 ^(注2) の成績分布及び単位取得率	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート／就職先アンケート	教務委員会・全学共通科目教育運営分科会
(DP3) 課題解決力と表現力〔思考力、判断力、表現力〕	「新入生セミナー」の成績分布及び単位取得率／ICT教育科目 ^(注2) の履修率及び成績分布／演習科目の履修率及び成績分布／卒業論文・卒業研究の履修率及び成績分布／アセスメントテスト（思考力）	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート／就職先アンケート	教務委員会・全学共通科目教育運営分科会
(DP4) 多様な他者を尊重し協働する力〔主体性、多様性、協働性〕	キャリア教育科目 ^(注2) の履修率及び成績分布／健康・スポーツ分野の履修率及び成績分布／アセスメントテスト（姿勢・態度、経験）	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート／就職先アンケート	全学共通科目教育運営分科会
大学全体	GPA分布状況／卒業率／就職率／進学率／休学率／留年率／退学・除籍率／海外留学状況／転部転科状況／アセスメントテスト受検率	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート／卒業生アンケート／就職先アンケート	教学運営会議

（注2）科目は、各学部等で選定した科目。

3. APの成果検証におけるデータ

APの検証は、APの各項目に係るデータを収集し、それらのデータを分析することで行います。また、その検証におけるデータは、客観データと主観データで行います。客観データは入学者選抜結果やアセスメントテストのスコア等を活用し、主観データは学生を対象としたアンケートを活用します。

表3. 駒澤大学AP成果検証における客観データと主観データ

AP・検証内容	客観データ	主観データ	実施・検証組織
(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解 〔主体性、多様性、協働性〕	入学者選抜結果／アセスメントテスト（姿勢・態度、経験）／卒業率	アセスメントテスト（アンケート項目）	駒澤大学入学者選抜委員会
(AP2) 入学前に習得することが望ましい教養〔知識、技能〕	入学者選抜結果／初年次GPA分布／初年次修得単位数／英語能力テスト		駒澤大学入学者選抜委員会
(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕	入学者選抜結果／アセスメントテスト（思考力）		駒澤大学入学者選抜委員会
(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕	入学者選抜結果／アセスメントテスト（姿勢・態度、経験）		駒澤大学入学者選抜委員会
大学全体	留年・退学・除籍率／その他	アセスメントテスト（アンケート項目）	駒澤大学入学者選抜委員会

○学部・学科（教育課程レベル）のアセスメント体制

1. 実施・検証体制

教育課程レベルのアセスメントを実施・検証するための体制は以下の組織で行います。

a. 学部教授会

学部の学位の授与、教育課程及び組織の構成に関する事項、教育内容、教育方法等の検証及び改善に関する事項を審議する組織。

教育課程レベルで収集したデータを基に、教育課程レベルのDP及びAPの検証を行う。

b. 総合教育研究部教授会

総合教育研究部の教育内容、教育方法等の検証及び改善に関する事項を審議する組織。

c. 学部等自己点検・評価委員会

教育・研究活動等の状況について内部質保証の推進に寄与する自己点検・評価を実施し、教育・研究水準の向上と教育・研究活動の活性化を図る。

2. DPとCPの検証におけるデータ

教育課程レベルのDPとCPの検証は、各学部・学科DPの各項目に係るデータを収集し、それらのデータを分析することで行います。また、その検証におけるデータは、客観データと主観データで行います。客観データは正課授業の履修・成績等の指標とアセスメントテストのスコア等を活用し、主観データは学生や卒業生を対象としたアンケートを活用します。

表4. 各学部・学科DP・CP成果検証における客観データと主観データ

DP	客観データ	主観データ	実施・検証組織
(DP1) 建学の理念を实践する力〔主体性・多様性・協働性〕	「仏教と人間」の成績分布及び単位取得率／アセスメントテスト（姿勢・態度、経験）	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート	学部教授会
(DP2) 幅広い教養と専門知識〔知識・技能〕	教養教育科目各分野（人文・社会・自然・ライフデザイン）の履修率及び成績分布／外国語科目の履修率及び成績分布／実用英語科目 ^{（注2）} の履修率及び成績分布／英語能力テスト／主な導入教育科目 ^{（注2）} の成績分布及び単位取得率／主な講義科目 ^{（注2）} の成績分布及び単位取得率／主な実験科目 ^{（注2）} の成績分布及び単位取得率／主な実習科目 ^{（注2）} の成績分布及び単位取得率	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート	学部教授会、総合教育研究部教授会
(DP3) 課題解決力と表現力〔思考力、判断力、表現力〕	「新入生セミナー」の成績分布及び単位取得率／ICT教育科目 ^{（注2）} の履修率及び成績分布／演習科目の履修率及び成績分布／卒業論文・卒業研究の履修率及び成績分布／アセスメントテスト（思考力）	アセスメントテスト（アンケート項目）／卒業時アンケート	学部教授会、総合教育研究部教授会

(DP4) 多様な他者を尊重し協働する力〔主体性、多様性、協働性〕	キャリア教育科目 ^(注2) の履修率及び成績分布／健康・スポーツ分野の履修率及び成績分布／アセスメントテスト(姿勢・態度、経験)	アセスメントテスト(アンケート項目)／卒業時アンケート	学部教授会、総合教育研究部教授会
学部・学科全体	GPA分布状況／卒業率／就職率／進学率／休学率／留年率／退学・除籍率／転部転科状況／アセスメントテスト受検率	アセスメントテスト(アンケート項目)／卒業時アンケート／卒業生アンケート	学部教授会

(注3) 科目は、各学部等で選定した科目。

3. APの検証におけるデータ

教育課程レベルAPの検証は、各学部・学科APの各項目に係るデータを収集し、それらのデータを分析することで行います。また、その検証におけるデータは、客観データと主観データで行います。客観データは入学者選抜結果やアセスメントテストのスコア等を活用し、主観データは学生を対象としたアンケートを活用します。

表5. 各学部・学科AP成果検証における客観データと主観データ

AP・検証内容	客観データ	主観データ	実施・検証組織
(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕	入学者選抜結果／アセスメントテスト(姿勢・態度、経験)／卒業率	アセスメントテスト(アンケート項目)	学部教授会
(AP2) 入学前に習得することが望ましい教養〔知識、技能〕	入学者選抜結果／初年次GPA分布／初年次修得単位数／英語能力テスト		学部教授会
(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕	入学者選抜結果／アセスメントテスト(思考力)		学部教授会
(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕	入学者選抜結果／アセスメントテスト(姿勢・態度、経験)		学部教授会
学部・学科全体	留年・退学・除籍率／その他	アセスメントテスト(アンケート項目)	学部教授会